

中央地区環境市民会議が調べた環境の現状

中央地区は、えきまえテラスの完成や八王子駅南口集いの拠点の整備開始、また各地域におけるマンション建設の進行により変化しつつあります。中央を流れる浅川周辺は災害時でも安心して過ごせるよう整備され、市民の散歩、憩いの場となっています。その浅川において定期的にごみ拾いや生物の調査、水質検査等を実施することで、皆が気持ち良く過ごすことができ、景観を保つ努力をしています。しかし、人目に付きづらい箇所は、不法投棄やごみが残されている状況ですが、小学生向けの川の学習や自然観察会等を通し、誇れるまちにしていける活動を継続します。

■ 中央地区の主な取組

1 地球温暖化防止のための省エネ生活の推進

地球温暖化防止活動推進員として家庭グループの打ち合わせを3回開催し、延べ22名が参加しました。

12月の温暖化防止月間では、家庭の省エネ講座を2回企画しました。また、学童保育所にて、写真や紙芝居、クイズなどで地球温暖化防止の大切さについて楽しく学べる出前講座を14回開催し、延べ410名の児童と48名の職員が参加しました。地球温暖化を自分事ととらえ、出来る事から始める大切さ、ゼロカーボンシティ宣言を児童から家庭・学校・地域に広めて市民に理解してもらう活動を継続しています。



家庭グループの打ち合わせ

2 ごみの分別徹底とリサイクルの推進

中野・台町・子安市民センターまつり・いちよう祭りに参加し、海洋プラスチック問題の対策として、クイズを交えながら、プラスチックを使わない生活への転換をアピールしました。



学童保育所での出前講座

3 河川の清掃活動

中野橋周辺の川口川・浅川で清掃活動を5回実施し、合計44名が参加、可燃ごみ40袋、不燃ごみ11袋を回収しました。自然環境保全プロジェクトはポイ捨てごみ回収を4回実施し、延べ10名が参加しました。可燃ごみ13袋、不燃ごみ7袋、ビニール傘や使用済み花火などを回収しました。なかなか投棄ゴミは減少しない状況です。



中野市民センター七夕まつりでの活動

4 河川の巡回観察・調査活動の推進

河川巡回と課題別巡回を23回実施、延べ30名が参加しました（浅川14回、南浅川3回、山田川3回、川口川3回）。前年に続き川口川のごみ問題は大きな課題です。

河川調査は身近な水環境の全国一斉調査、水生生物調査、水質と水生生物調査、湧水集水溜り調査を全14回実施、延べ44名が参加しました。種の単純化傾向がみられ、生物多様性の保全が重要な課題となっています。



河川清掃活動

5 環境教育・環境学習などの推進

エコひろばの環境教育支援事業「川の学習」は体験学習と課題別学習で、地区内小学校7校（第一小、第二小、第四小、第五小、第九小、第十小、大和田小）と地区外小学校3校に対して、合計18回支援し、延べ54名が参加しました。応援受け入れは延べ42名でした。加えて学習様子のパネル7校分を作成しました。川の学習サポーター養成講座は実行委員会を含め15回延べ27名が支援に参加しました。

八王子浅川水辺の楽校運営協議会主催の「ウグイの放流」に2回2名、「ガサガサ探検隊」に4名が支援参加し、グループリーダー養成研修会とガサガサ体験教育プログラムにも延べ4名が参加しました。

「はちおうじ環境だより」への投稿は、調査巡回の結果紹介と共に、動画では野鳥を中心に継続しています。



浅川鶴巻橋周辺の調査

6 まちのみどりの保全

学校で緑に親んでもらう活動として第一小学校、第四小学校の校庭にある樹木に名札付けを実施しました。また、明神町なかよし公園の花植え替えを季節に合わせて春、秋に実施しました。



大和田小学校 川の体験学習

7 大気汚染測定

大気汚染測定運動東京連絡会主催の全都一斉測定運動に参加し、6月と12月に二酸化窒素濃度の定点調査を実施しました。居住区域3ヶ所の測定結果が、環境基準以下で安定していることを確認しました。



自然体験講座の様子

■ 特色のある取組

自然体験講座では、市街地の豊かな自然を紹介する内容で10月と3月に開催し、合計で36名が参加しました。